

令和3(2021)年度科学研究費助成事業(学術変革領域研究(A)(公募研究))募集のご案内

標記の件について、文部科学省より通知がありましたのでご案内いたします。学術変革領域研究(A)は、「新学術領域研究(研究領域提案型)」を発展的に見直し、新たに創設された新種目となり、今回の募集については学術変革領域研究(A)の公募研究の研究課題となります。応募を希望される方は、必ず、公募要領をご確認のうえ、2021年2月19日(金)までに、リサーチ・イニシアティブセンターまでご連絡ください。

I. 研究種目の概要と応募資格

学術変革領域研究(A)

対象	別表1で示す20研究領域(令和2(2020)年度開始)に係る公募研究の研究課題。
応募金額	別表1で示す20研究領域ごとの金額
研究期間	2年間(左記以外の研究期間の応募は審査に付されない)
採択予定件数	別表1で示す20研究領域ごとの件数
留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・研究分担者を置くことはできない(ただし、必要に応じて研究協力者を研究に参画させることは可能) ・研究領域ごとの専門委員会(領域外の研究者を含め構成する予定)において、各評価者が2段階にわたり書面審査を行う。合議審査は行わない。 ・「学術変革領域研究(A)」の研究領域の詳細については、以下の「【参考】新規の研究領域について」に記載。応募に当たって参考とすること。□
応募資格	<p>下記の「本学の科研費有資格職種」を参照し、応募資格の有無をご確認下さい。</p> <p>本学の科研費有資格職種</p> <p>教授、准教授、講師、チャプレン、カウンセラー、特任教授、特任准教授、助教、教育講師、法務講師、キャリア支援コーディネーター、PD、教育研究コーディネーター、名誉教授、特定課題研究員、日本学術振興会・特別研究員(SPD、PD、RPD、CPD)</p> <p>※ 下記①～⑤に該当する方が申請する場合は、個別に応募要件を確認させていただきます。また、場合によっては、応募を受け付けられない場合もありますので、その旨お含みおき下さい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 任期付職種や定年退職予定者の方で、応募する研究期間中に応募資格の喪失などの理由により、研究代表者・研究分担者としての責任を果たせなくなることが見込まれる方 ② 科研費被雇用者の方 ③ PD、教育研究コーディネーター、助教Rのいずれかの職種の方 ④ 特定課題研究員の方 ⑤ 日本学術振興会・特別研究員(SPD,PD,RPD,CPD)の方

【参考】新規の研究領域について((令和3(2021)年度科学研究費助成事業—科研費—公募要領(学術変革領域研究(A・B))より抜粋))

目的	多様な研究者の共創と融合により提案された研究領域において、これまでの学術の体系や方向を大きく変革・転換させることを先導するとともに、我が国の学術水準の向上・強化や若手研究者の育成につながる研究領域の創成を目指し、共同研究や設備の共用化等の取組を通じて提案研究領域を発展させる研究。
対象	学問分野に新たな変革や転換をもたらす、既存の学問分野の枠に収まらない新興・融合領域の創成を目指す研究領域、又は当該学問分野の強い先端的部分の発展・飛躍的な展開を目指す研究領域であって、多様な研究グループによる有機的な連携の下に、新たな視点や手法による共同研究等の推進により、革新的・独創的な学術研究の発展が期待されるもので、次の1)~3)の全ての要件及び該当する場合は4)の要件

	<p>を満たすもの。</p> <p>1) 基礎的研究（基礎から応用への展開を目指すものを含む。）であって、複数の分野にまたがる研究領域の創成や革新的な学術研究の発展が期待されるもの。</p> <p>2) 「(i)国際的な優位性を有する（期待される）もの」、又は「(ii)我が国固有の分野若しくは国内外に例を見ない独創性・新規性を有する（期待される）もの」。</p> <p>3) 研究期間終了後に、個々の研究課題について十分な成果が期待されるとともに、これまでの学術分野の概念や方法論を変革することなどが研究領域の成果として十分に期待されるもの。</p> <p>4) 過去に「新学術領域研究（研究領域提案型）」又は他の研究費制度において採択された研究領域を更に発展させる提案については、当該研究費で期待された成果が十分に得られており、それまでの成果を踏まえ、更に強い先端的な部分の発展・飛躍的な展開を図る内容となっているもの。</p>
応募金額	1 研究領域の応募金額は、単年度当たり 5,000 万円以上 3 億円まで。 なお、真に必要な場合には、1 研究領域の応募金額の上限を超える応募も可能。
研究期間	5 年間（左記以外の研究期間の応募は審査に付されない）
採択予定領域数	令和元(2019)年度新学術領域研究（研究領域提案型）の採択数 （18 研究領域程度）と同数程度 の採択を予定
研究領域の構成	<p>（基準を満たしていない応募研究領域は審査に付されない）</p> <ul style="list-style-type: none"> 研究領域は、「計画研究」及び「公募研究」により構成。 「計画研究」は、「総括班」と「総括班以外の計画研究」により構成。 「総括班」を必ず一つ設ける。また、「総括班以外の計画研究」及び「公募研究」をそれぞれ相当数設ける。 「総括班」は、主に研究領域全体のマネジメントを実施するための組織。研究の実施を目的とする計画は認めない。 次代の学術の担い手となる研究者（令和 3 (2021)年 4 月 1 日現在で 45 歳以下の研究者）を研究代表者とする「総括班以外の計画研究」が複数含まれる領域構成。 「公募研究」は、研究期間は 2 年間（領域設定期間の 2～3 年目及び 4～5 年目）とし、領域設定期間の 1 年目に令和 4 (2022)～令和 5 (2023)年度分、3 年目に令和 6 (2024)～令和 7 (2025)年度分の公募を行い、次の最低基準のいずれかを上回るよう設定してすること。その際、最低基準を上回るにとどまらず、学術変革領域研究（A）の目的及び当該研究領域の特性を踏まえ、当該研究領域の研究の幅広い発展を目指す上で必要な件数及び必要な金額とするよう努めること。 ○1 年目と 3 年目それぞれの採択目安件数が 15 件を上回ること ○公募研究に係る経費の総額（令和 4 (2022)～令和 7 (2025)年度の合計）が研究領域全体の研究経費（5 年総額）の 15%を上回ること

II. 応募方法

リサーチ・イニシアティブセンターから学内申請手続きに関して、説明を受けたのち、**2021 年 3 月 8 日（月）9 時**までに、学内申請手続きを完了してください。

III. 応募から交付までのスケジュール（予定）

日程	内容
2021 年 1 月 26 日（火）	公募発表
2 月 4 日（木）	学内募集のご案内
2 月 19 日（金）	申請希望のリサーチ・イニシアティブセンターへの連絡期限
3 月 8 日（月）9 時	学内申請締切 3 月 8 日（月）9 時【厳守】
3 月 31 日（水）16 時 30 分	日本学術振興会への申請書提出期限

4 月～8 月 審査 8 月下旬 交付内定

本件に関するお問合せ先

リサーチ・イニシアティブセンター（科研費申請担当）

【池袋キャンパス（12 号館 2 階）】 内線：4656 E-Mail：kaken-shinsei@rikkyo.ac.jp

以上

別表1 学術変革領域研究（A）のうち「公募研究」を募集する研究領域一覧（20研究領域）

注)各研究領域の公募研究の内容については、「別表2 学術変革領域研究(A)の公募研究の内容」(18頁～37頁)を確認してください。

番号	領域番号	研究領域名	領域略称名	領域設定期間	公募研究の期間	件数(程度)	単年度当たりの応募金額(1年間)	内容の頁
1	20A101	生涯学の創出—超高齢社会における発達・加齢観の刷新	生涯学	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	5 5 10	700万円以内 500万円以内 300万円以内	18
2	20A102	土器を掘る:22世紀型考古資料学の構築と社会実装をめざした技術開発型研究	土器を掘る	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	3 5	300万円以内 200万円以内	19
3	20A103	中国文明起源解明の新・考古学イニシアティブ	中国文明起源	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	4 8	400万円以内 200万円以内	20
4	20A104	イスラーム的コネクティビティにみる信頼構築:世界の分断をのりこえる戦略知の創造	イスラーム信頼学	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	4 14	200万円以内 150万円以内	21
5	20A201	動的エキシトンの学理構築と機能開拓	動的エキシトン	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	20	300万円以内	22
6	20A202	次世代アストロケミストリー:素過程理解に基づく学理の再構築	次世代星間化学	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	6 10	500万円以内 200万円以内	23
7	20A203	ダークマターの正体は何か?—広大なディスカバリースペースの網羅的研究	ダークマター	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	2 5 11	330万円以内 200万円以内 100万円以内	24
8	20A204	高密度共役の科学:電子共役概念の変革と電子物性をつなぐ	高密度共役	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	3 13 2	600万円以内 300万円以内 150万円以内	25
9	20A205	マテリアルシンバイオシスのための生命物理化学	物質共生	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	20	300万円以内	26
10	20A206	超秩序構造が創造する物性科学	超秩序構造科学	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	6 10	500万円以内 300万円以内	27
11	20A207	散乱・揺らぎ場の包括的理解と透視の科学	散乱透視学	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	8 8	500万円以内 200万円以内	28
12	20A301	グリアデコーディング:脳-身体連関を規定するグリア情報の読み出しと理解	グリアデコード	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	8 10	500万円以内 300万円以内	29
13	20A302	不均一環境変動に対する植物のレジリエンスを支える多層的情報統御の分子機構	不均一環境と植物	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	15	360万円以内	30
14	20A303	脳の若返りによる生涯可塑性誘導—iPlasticity—臨界期機構の解明と操作	臨界期生物学	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	9 15	500万円以内 300万円以内	31
15	20A304	マルチファセット・プロテインズ:拡大し変容するタンパク質の世界	多面的蛋白質世界	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	15	400万円以内	32
16	20A305	DNAの物性から理解するゲノムモダリティ	ゲノムモダリティ	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	11 5	500万円以内 400万円以内	33
17	20A306	素材によって変わる、『体』の建築工法	からだ工務店	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	15 5	500万円以内 300万円以内	34
18	20A401	実世界の奥深い質感情報の分析と生成	深奥質感	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	30	300万円以内	35
19	20A402	社会変革の源泉となる革新的アルゴリズム基盤の創出と体系化	アルゴリズム基盤	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	17	200万円以内	36
20	20A403	分子サイバネティクス—化学の力によるミニマル人工脳の構築	分子サイバネ	令和2(2020)年度～令和6(2024)年度	2年間	25	400万円以内	37